



- 9 入札参加資格審査 開札時点では落札を保留して、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者（最低制限価格を設けた場合にあっては、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって申込みをした者のうち、最低の価格をもって申込みをした者）を落札候補者として入札参加資格の審査を行います。このため、入札参加申請者は下記の書類を本業務の開札日時までに用意してください。
- また、落札候補者とする旨の宣言又は通知を受けた者は下記の書類を、令和7年6月17日(火)午後5時まで(時間厳守)に当財団 経営管理課へ直接持参してください。
- (1) 競争参加資格確認申請書
- (2) 業務実績調書（入札参加資格の要件④、⑤の確認書類です。）
- 財務諸表（損益計算書）の写し、契約書の写し及び仕様書等、業務内容の分かる書類の写しを提出してください。
- ※ 上記のほか、必要に応じ、決算書類等追加資料の提出を求める場合があります。
- なお、(1)、(2)の書類は、当財団ホームページからダウンロードしてください。<https://www.kanazawa-arts.or.jp/>
- 10 落札者の決定 落札候補者の入札参加資格を審査し、落札候補者が入札参加資格を有していると認めた場合には、落札者として決定し、その旨を通知します。
- 11 入札方法 入札金額は、契約期間における総額（税抜）を記載してください。
- 12 入札保証金 免除
- 13 契約保証金 免除
- 14 契約書の要否 要
- 15 入札に関する無効事項 (1) 入札参加資格のない者が入札した場合
- (2) 入札に参加しようとする者が協定して入札した場合又は入札に際し不正の行為があった場合
- (3) 同一事項の入札に対し2つ以上入札した場合
- (4) 当財団所定の入札書（様式は金沢市に準ずる。）を使用しない場合
- (5) 他人の代理人を兼ね、又は2人以上の代理をした場合
- (6) 入札者の記名押印がない場合又は入札書の記載事項が不明確な場合
- (7) 入札書の記載事項を訂正し、訂正事項に訂正印がない場合
- （ただし、入札金額を訂正した場合は、訂正印を押しても無効とします。）
- (8) 再度入札にあたり、直前の入札の最低価格以上の入札をした場合
- (9) 同一入札に参加する複数の者が次に掲げる基準（以下「基準」という。）に該当する場合は、基準に該当した者の入札は無効として取り扱います。ただし、入札執行の完了に至るまでに基準に該当する事実が判明し、基準に該当する1者を除く全てが入札を辞退した場合には、残る1者の入札は有効として取り扱うものとします。
- ① 次に掲げる資本関係がある場合（子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合を除く。）
- ア 親会社と子会社の関係にある場合
- イ 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
- ② 次に掲げる人的関係がある場合
- ア 一方の会社の役員が、他方の役員を現に兼ねている場合（会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合を除く。）
- イ 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合
- ③ 事業協同組合等と組合員の関係にある場合
- ④ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
- 16 最低制限価格制度 この入札には、最低制限価格制度を適用します。
- 17 翌年度以降の契約 (1) 令和8年度以降、当該業務の契約にかかる当財団の予算額が前年度に比較して減額され、又は予算がない場合は、当財団はこの契約を変更し、又は解除することができます。
- (2) 前項の規定によりこの契約を解除されたときは、当財団に対しその損害の賠償を求めることはできません。
- (3) 令和8年度以降、価格の変動及び委託内容の変更等があった場合は、協議の上、契約額を定めます。
- 18 その他の事項 (1) 入札書には、消費税及び地方消費税相当額を除いた金額を記載してください。

- (2) 無効事項に該当する入札者は、再度入札に参加できません。
- (3) 再度入札は1回とします（第1回を含めて2回）。
- (4) この公告及び詳細については、当財団経営管理課までお問い合わせください。電話（076）223－9888